NICHIBAN

やさしさに

ぴったり

そんな明日を

第115期　第2四半期報告書

2018年4月1日▶2018年9月30日

ニチバン Life

絆を創って100年

100th ANNIVERSARY

Contents

株主の皆様へ 1

ニュース 2

セグメント情報 3

CSR活動/海外の取り組み 5

連結財務ハイライト 6

[証券コード:4218]

TO OUR SHAREHOLDERS
株主の皆様へ

代表取締役社長
堀田直人

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2018年4月1日から2018年9月30日にいたる第115期（2019年3月期）第2四半期報告書（ニチバンLife）をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

確かな成長軌道のもと 重点施策をスピーディーに遂行し結実させ【NB100】の達成を

第115期第2四半期（上半期）の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益改善が持続し、雇用環境の回復も継続していることから個人消費の活性化が期待されるものの、米国の保護主義的通商政策や貿易摩擦問題、原油価格の高止まり傾向と併せて、国内外での自然災害による景気への影響も懸念され、先行きは不透明な状況であります。このような状況の中、当社グループは中長期経営計画【NB100】最終年度の戦略フレームとして「500億企業品質の確立」「人財育成」「創造開発型企業の実現」に取り組んでおります。

その結果、売上高は、メディカル事業の販売拡大により233億1千6百万円（前年同期比3.9％増）となりました。しかしながら利益面においては、新工場の立ち上げ等による減価償却費増加及び原材料価格の上昇により売上原価が増加したことや、販売費及び一般管理費が一時的に増加したことが影響し、経常利益は18億4千1百万円（前年同期比23.3％減）、第2四半期純利益は11億7千8百万円（前年同期比23.3％減）となりました。

第115期下半期の取組みについて

当社グループは、2018年1月に「創業100周年」を迎え、当連結会計年度を最終年度とする中長期経営計画【NB100】を達成すべく、確かな成長軌道のもと重点施策をスピーディーに遂行し、結実させてまいります。

【NB100】成長追求の大きな柱の一つである海外事業の拡大につきましては、2017年7月にタイ・バンコクに設立いたしました販売子会社NICHIBAN (THAILAND) CO.,LTD. にて、重要市場である東南アジア諸国での現地密着型の営業活動を更に拡充し、販売実績を拡大してまいります。また、今後の成長分野と位置づけるメディカル事業の拡大に向けて、2018年1月に竣工いたしましたメディカル安城工場の生産性向上により、鎮痛消炎剤、医療用貼付剤の需要拡大に対応してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの業績向上にご期待いただき、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

創業100年のあゆみ

主要製品

1918 ピック氏硬膏をはじめとする硬膏類や軟膏類の製造を開始

1948 米軍横浜キャンプにセロハン粘着テープを納入。文具業界に進出し「セロテープ®」の製品名で発売

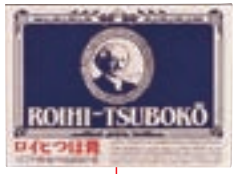
1950 紙粘着テープ発売

1966 両面テープ「ナイスタックTM」発売

1978 野菜結束機「たばねらTM」及び野菜結束テープ「たばねらTMテープ」発売

1984 「バトルウィンTM」テーピングテープ発売

1989 鎮痛消炎剤「ロイヒつぼ膏TM」発売



1997 救急絆創膏「ケアリーヴTM」発売

2000 極低刺激性絆創膏「スキナゲートTM」発売

2011 高透湿性フィルムドレッシング「カテリープラスTM」発売

沿革

1918 歌橋製薬所創業（東京府荏原郡品川町南品川）

1944 全国25の絆創膏製造業者を統合、歌橋製薬所が存続会社となり、商号を「日絆工業株式会社」とする

1945 東京工場（練馬）、大阪工場（藤井寺）の2工場体制で操業

1948 商号を「日絆薬品工業株式会社」と改称

1961 商号を「ニチバン株式会社」と改称

1961 店頭市場公開後、東京証券市場第2部上場

1967 安城工場竣工

1968 東京証券取引所第1部上場

1972 埼玉工場竣工

1976 大鵬薬品工業株式会社と資本提携

1983 中央研究所開設

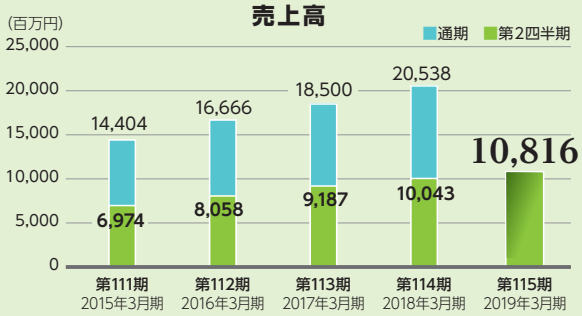
1994 本社を移転（東京都文京区関口）

2017 中央研究所を改称・移転し、先端応用研究所を開設

2018 先端技術棟（安城）竣工式挙行。大阪工場を同棟内に移転し、メディカル安城工場竣工

MEDICAL
メディカル事業

売上高比率
46.4%



営業概況

ヘルスケアフィールド

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、大手ドラッグチェーンの業務提携化や一部医薬品や商品の小売価格競争の影響に加えて、自然災害の影響や訪日外国人観光客の一時減少によるインバウンド需要の停滞もありました。鎮痛消炎剤“ロイヒ™”シリーズでは、業界初の鎮痛消炎クリーム剤のロールオンタイプ「ロイヒ™クリーム フェルビ」を発売し、高機能救急絆創膏“ケアリーヴ™”シリーズでは新テレビCMを展開いたしました。また、テーピングテープ“バトルウィン™”シリーズでは、サッカー・スペインリーグ名門クラブ「FCバルセロナ」関連の販促キャンペーンを展開して販売に注力し、売上は前年を若干上回りました。

医療材フィールド

医療機関向け医療材料市場におきましては、医療費削減の傾向により、衛生材消耗品に対するコスト要求は強く、引き続き厳しい販売環境でありました。医療現場のニーズを取り入れて製品化いたしました、極低刺激性サージカルテープ「スキナゲート™」、フィルムドレッシング材「カテリープラス™」及び注射や点滴治療時の保護・止血製品“セサブリック™”シリーズの販売に注力すると共に、手術後の傷あとケアテープ「アトファイン™」等の手術後トータルケア製品“アスカブリック™”のシリーズ展開を強化して、売上は好調に推移いたしました。

TOPICS ケアリーヴ™治す力™プロモーション活動（新テレビCM、キャンペーン）

家庭用創傷パッド「ケアリーヴ™治す力™」の新テレビCMを、本年7月から8月にかけて展開しました。「ありがとう」篇（15秒／30秒）と題した新CMでは、「ケアリーヴ™治す力™」が働く母親の手指にフィットし、しっかりキズを治していく数日間のストーリーを、家族の温かさを感じさせるやわらかいトーンで描きました。

あわせて、抽選で500名様にグルメ食材やキッチン家電などが当たる「キズを早くきれいに治す！ケアリーヴ™治す力™キャンペーン」も実施しました。

テレビCM「ありがとう」篇

TOPICS 患者様の整容面の回復に貢献する製品に注力

外科手術後の傷あとを保護する専用ケアテープ「アトファイン™（Atofine™）」のLLサイズを本年5月に、乳児の臍（さい）ヘルニアの圧迫療法に使用する「へそ圧迫材パック」を本年6月にそれぞれ発売しました。

「アトファイン™」LLサイズはこれまでのSからLサイズでは対応できなかった15cm以上の傷あとにも対応でき、帝王切開から内視鏡手術まで幅広いサイズの傷あとをケアできるようになりました。「へそ圧迫材パック」は乳児の臍ヘルニアの圧迫療法に使用し、おへその皮膚が緩んで皮膚が飛び出したままの状態（通称「でべそ」）になるのを防ぐために開発されました。

これらの製品のように、ニチバンは患者様の整容面の回復に貢献する製品をこれからも提供していきます。

アトファイン™　LLサイズ

へそ圧迫材パック

新製品情報

「ロイヒ™クリーム フェルビ」新発売

鎮痛消炎剤“ロイヒ™”シリーズから、クリーム剤の鎮痛消炎剤では業界初※となるロールオンタイプを採用した「ロイヒ™クリーム フェルビ」を発売しました。

有効成分「フェルビナク」を3%配合した、温感タイプの製品です。患部に直接塗ることができるロールオンタイプで、「塗る時に手が汚れる」というクリーム剤への不満を解消しました。また、本年10月から11月にかけて“ロイヒ™”シリーズの新CMを展開し、認知度の向上に努めました。

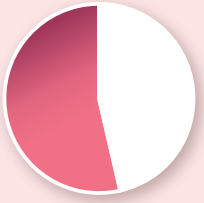
※2018年5月時点、ニチバン調べ

テレビCM「ぐる塗りロイヒ」篇

ロイヒ™クリーム フェルビ

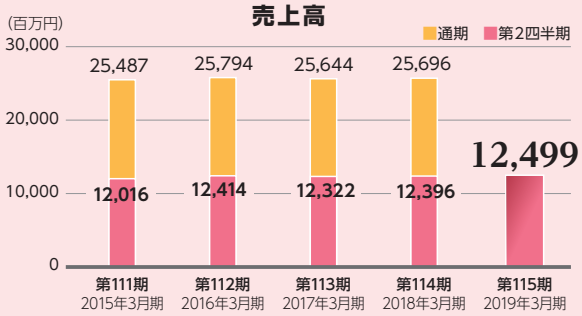
TAPE

テープ事業



売上高比率

53.6%



営業概況

オフィスホームフィールド

文具事務用品市場におきましては、官公庁やオフィスでの需要回復は緩慢であり、学校学童向けの需要減少が続いているため、依然として厳しい販売環境となりました。このような環境のなか、発売70周年を迎えました「セロテープ®」につきましてはパッケージのリニューアルと販促キャンペーンを展開して販売を進めました。また、パーソナル需要の取り込みを狙い、“Dear Kitchen™（ディアキチ）”ワザアリ™テープと“プチジョア™”シリーズをキッチン用品売り場や雑貨小物売り場にて販売展開いたしましたが、オフィス需要向け製品の販売が伸び悩んだために、売上は前年並みに留まりました。

工業品フィールド

産業用テープ市場におきましては、国内景気の緩やかな回復により、電器製品の製造工程にて使用される電気絶縁テープなど一部製品の売上の回復も見られましたが、包装用粘着テープ製品や塗装マスキングテープ製品の売上は前年並みに留まりました。また、猛暑や台風などの影響による野菜流通量の減少に伴い、食品包装用「たばねら™テープ」の需要が低迷したこともあり、フィールド品目合計の売上につきましては前年並みに留まりました。

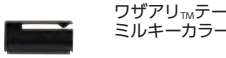
新製品情報

“ディアキチ™”ワザアリ™テープの新製品

キッチン周りで便利に使える“ディアキチ™”ワザアリ™テープシリーズから、サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」をデザインした限定ホルダー（全4種）、ミルキーカラーの新色（イエロー、グリーン）、専用の油性マーカー「ワザアリ™マーカー」を発売しました。

今後も“ディアキチ™”ワザアリ™テープシリーズのラインアップを更に充実させ、認知度向上を進めてまいります。

ワザアリ™テープ ミルキーカラー新色



ワザアリ™マーカー

ワザアリ™テープ ハローキティ柄

©1976, 2018 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G592743

新製品情報

「セロテープ®小巻カッターつき〈まっすぐ切れるタイプ〉」新発売

従来の「セロテープ®小巻カッターつき」をグレードアップさせた新製品「セロテープ®小巻カッターつき〈まっすぐ切れるタイプ〉」（全3種）を発売しました。

刃先のギザギザ部分を細かく密にした新しいカッター刃を採用し、プラスチック製の小巻カッターでも、テープをきれいに切ることができるようになりました。切り口がまっすぐになるため、封緘やラッピングが美しく仕上がります。

このような今までとは明らかに違う切りやすさと、切り口の美しさを生んだ点が評価され、2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。

セロテープ®小巻カッターつき〈まっすぐ切れるタイプ〉

TOPICS

セロテープ®発売70周年を記念してパッケージデザインをリニューアル

セロテープ®が本年6月、発売70周年を迎えました。この節目に合わせ、パッケージデザインを10年ぶりにリニューアルしました。

セロテープ®は、セロハン、粘着剤、巻心など原料のほとんどが植物由来です。新パッケージは、人と地球への優しさを表現するため、これまでより丸みを帯びたデザインになりました。環境負荷が少なく、安心して使える製品であることを発信するため、「天然素材」の文字を表記しています。

あわせて、南部鉄製の復刻版テープカッター、オリジナルポーチ、宿泊ギフト券などが770名様に当たる「セロテープ®発売70周年記念　ありがとうキャンペーン」などPR活動を実施しました。

セロテープ®発売70周年ロゴ

セロテープ® 新パッケージデザイン

CSR活動

障がい者支援団体へのサポートを開始

社会貢献活動の一環として、障がい者を支援する2団体に協賛し、「パラリンアート」と「ブラインドサッカー」のサポートを開始しました。

一般社団法人 障がい者自立推進機構が実施する「パラリンアート」活動は、アートを活かして障がい者の社会参加と経済的自立を目指す活動です。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」印刷物へのアート作品の利用や、当社で支援しているセロテープアート®展での展示等を実施しています。また、NPO法人日本ブラインドサッカー協会に対しては、大会の会場運営で使用するテープ製品類の提供を通じて、活動を支援しています。

Paralym Art®
障がい者アートを応援しています

JBFA since 2002

海外の取り組み

"Panfix™" CELLULOSE TAPE 新製品発売と展開

海外向けセロハンテープ（"Panfix™" ブランド）にて新製品を発売しました。小巻カッター付きでディスペンサー本体に型紙を入れて好きな柄や写真など着せ替えができる製品となっており、各国での展示会や営業活動で好評をいただいています。香港で開催されたHong Kong Book Fair 2018（本年7月）では多くのお客様に製品を手にとっていただき、"Panfix™" ブランドの認知度向上に貢献しました。

"Panfix™" CELLULOSE TAPE

香港での展示会風景

第9回 ニチバン巻心ECOプロジェクト

巻心受付期間 2018年9月3日から12月27日まで実施

応募等の詳細は、特設WEBサイトをご覧ください。
https://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/

使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する環境活動「第9回ニチバン巻心ECOプロジェクト」を、本年12月27日まで実施しています。全国から集まった巻心は業者に買い取ってもらいダンボールにリサイクルされます。その利益と当社からの支援金を環境NGOに寄付し、フィリピンでのマングローブの植樹や、島根県江の川「森のしずく」保全活動※に役立てます。プロジェクト開始以来、毎年多数の皆様にご賛同いただき、累計の回収個数は290万個を超えました。

※島根県江の川「森のしずく」保全活動

日本製紙株式会社の江津工場（島根県江津市）で、セロハンの主原料となる溶解パルプを生産していることから、同工場の水源でもある江の川流域に広がる同社の社有林において、ニチバンが行う新たな森の保全活動です。本年5月に第1回「森のしずく」保全活動を実施し、地元の小学生や愛知県の高校生を招いて杉200本を植樹しました。

連結財務ハイライト

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 2018年3月31日現在	当第2四半期 2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	**32,557**	**31,674**
現金及び預金	8,369	8,144
受取手形及び売掛金	14,535	12,249
電子記録債権	854	2,843
たな卸資産	7,830	8,120
その他	967	315
固定資産	**28,198**	**27,793**
有形固定資産	22,742	22,457
無形固定資産	294	295
投資その他の資産	5,161	5,040
資産合計	**60,755**	**59,468**
負債の部		
流動負債	**18,827**	**18,980**
支払手形及び買掛金	4,274	4,379
電子記録債務	6,105	6,470
短期借入金	—	1,000
１年内返済予定の長期借入金	—	2,000
その他	8,447	5,129
固定負債	**8,610**	**6,834**
長期借入金	2,000	—
退職給付に係る負債	3,207	3,292
その他	3,402	3,542
1 **負債合計**	**27,438**	**25,815**
純資産の部		
株主資本	**32,828**	**33,178**
その他の包括利益累計額	**488**	**474**
純資産合計	**33,317**	**33,653**
負債純資産合計	**60,755**	**59,468**

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2017年4月1日～2017年9月30日	当第2四半期 2018年4月1日～2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,419	3,318
1 投資活動によるキャッシュ・フロー	△794	△3,630
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844	85
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額	△221	△225
現金及び現金同等物の期首残高	10,713	7,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,492	7,738

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 2017年4月1日～2017年9月30日	当第2四半期 2018年4月1日～2018年9月30日
2 **売上高**	**22,440**	**23,316**
売上原価	14,631	15,736
売上総利益	7,808	7,579
販売費及び一般管理費	5,513	5,834
2 **営業利益**	**2,295**	**1,745**
営業外収益	147	126
営業外費用	42	29
2 **経常利益**	**2,400**	**1,841**
特別利益	9	162
特別損失	130	241
税金等調整前四半期純利益	**2,279**	**1,762**
法人税等	**743**	**583**
四半期純利益	**1,536**	**1,178**
親会社株主に帰属する四半期純利益	**1,536**	**1,178**

Point 1 四半期連結貸借対照表及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書

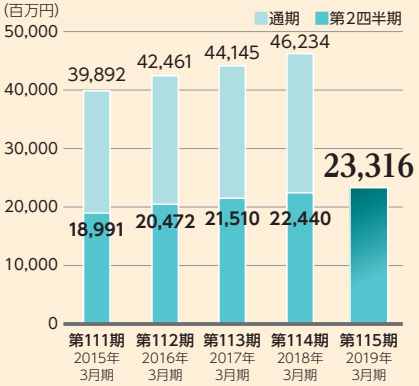
四半期連結貸借対照表は、安城事業所（愛知県安城市）内の先端技術棟（医薬品生産工場、研究所）建設にかかる工事代金を支払ったことにより、負債合計が減少しております。
同様の理由により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書の投資活動によるキャッシュ・フローは減少しております。

Point 2 四半期連結損益計算書

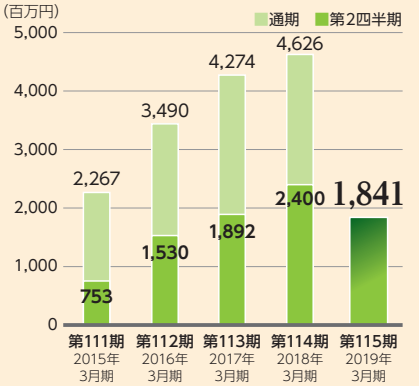
売上高は、メディカル事業の販売拡大により、前年同期比3.9％の増収となっております。一方、営業利益及び経常利益は、新工場の立ち上げ等による減価償却費増加及び原材料価格の上昇により売上原価が増加したことや、販売費及び一般管理費が一時的に増加したことで、前年同期比24.0％、23.3％の減益となっております。

財務に関する詳しい情報は、当社ホームページ
https://www.nichiban.co.jp/ir/ をご覧ください。

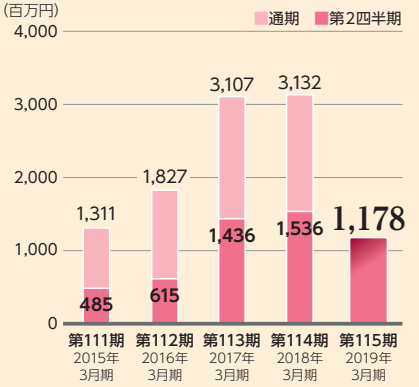
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



CORPORATE DATA

会社データ

（2018年9月30日現在）

会社概要

創業	1918（大正7）年1月
本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号
資本金	54.51億円
従業員数	768名

役員

代表取締役社長	堀田直人	取締役	清水與二
代表取締役専務取締役	須藤孝志	取締役	石原達夫
常務取締役	酒井寛規	常勤監査役	芹澤和弘
取締役執行役員	小久保武政	常勤監査役	髙橋一徳
取締役執行役員	伊藤暁	監査役	横井直人
取締役執行役員	原秀昭	監査役	佐藤彰紘
取締役執行役員	舘野英雄		

（注）取締役のうち清水與二、石原達夫の両氏は社外取締役、監査役のうち横井直人、佐藤彰紘の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	20,738,006株
株主数	6,803名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
大鵬薬品工業株式会社	6,758千株	32.61%
ニチバン取引先持株会	1,129	5.45
株式会社三菱UFJ銀行	1,034	4.99
株式会社みずほ銀行	1,034	4.99
MSCO CUSTOMER SECURITIES	743	3.59
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	540	2.61
株式会社りそな銀行	288	1.39
第一生命保険株式会社	277	1.34
エムエルアイ フォークライアント ジェネラル オムニ ノンコラテラル ノントリーティー ピービー	268	1.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	266	1.28

（注）持株比率は自己株式（16,629株）を控除して計算しております。

SHAREHOLDER INFORMATION

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 （中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 （https://www.nichiban.co.jp） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問合せ先	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
		みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
	未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」のお問合せ先までご連絡ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株主優待制度について

目的

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に対する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。

内容

①**対象となる株主様**／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、1単元（100株）以上を保有する株主様を対象といたします。

②**贈呈内容**／年1回、対象株主様お1人につき3,000円相当の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈させていただきます。

③**贈呈時期**／毎年11月中旬頃を予定しております。

贈呈内容の例

ニチバン株式会社

〒112-8663
東京都文京区関口二丁目3番3号
電話：(03) 5978-5601
https://www.nichiban.co.jp/

Ⓡは登録商標、TMは商標です。

● IRニュース　メール配信のご案内

適時開示、決算報告などのIR情報や新製品などの最新情報を、電子メールでタイムリーにお知らせいたします。配信をご希望の方は、当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRニュース　メール配信登録」よりご登録ください。

https://www.nichiban.co.jp/ir/ir_news/

FOR BETTER BEING
いつも笑顔でいたいから――ニチバン

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK